



第一回「地域産業」講座スタート！ 北上市副市長 及川義明氏「北上市はどんなまち」

6月1日（水）令和4年度の「地域産業」講座がスタートしました。第一回講師は、北上市副市長 及川義明様です。演題は、「北上市はどんなまち」と題して北上市を紹介してくれました。第2～3回は各学科毎に講話を聞くことになります。

生徒たちは、北上市のイメージを聞かれ「緑が豊か」「工業の街」と話していました。及川副市長からは、北上市の産業・観光・スポーツ・鬼剣舞などの紹介があり他地区から通学している生徒達も北上市の理解を深めることができました。その中でも、北上市は、大型店の進出で売り上げが伸びていることや、人口一人あたりの大型店面積が岩手県で一番高いことを知りました。また、郊外型の店舗が広域に広がることで道路・下水道の整備が必要になり都市開発としての視点では効率が悪くなることも話していました。

人口減少問題では、10年後北上市は-49人と県内で一番低い減少予想となりました。北上市は、人口1人あたりの工業生産高で比べると県内一であり、このことは自動車・半導体産業を誘致している好材料として考えられました。

市政では、市単独で積極的に工業団地を造成して企業を誘致しています。そんな意味でも、将来北上市は岩手県の中心的な存在になることを思わせる話を聞くことができました。

人口が減っていく時代、物をつくれれば売れた時代から、これからは作っても売れない時代に入る。数はいらない、本当に必要な物を作っていくことが求められていきます。そんな20年後、私たちはどんな時代を迎えるのでしょうか。及川副市長は、地域産業を担う人材として、今の黒工生世代が工業人として、北上市を支えていく世代であることを私たちに示してくれました。 感謝

～いま 黒工がおもしろい～



夢を持ち夢を追い夢をかなえる

